

## NGO インターン・プログラム 完了報告書

団体名	特定非営利活動法人ケニアの未来
育成期間	令和7年6月1日～令和8年3月31日
氏名	甲斐田 真希

**1) インターン期間を通じて得たもの**

今年度は昨年度明らかになった課題の克服に努めた。課題は、1. 広報、2. プロジェクト管理、3. 人員マネジメントであった。

1. 広報については、昨年度対象に合わせた広報をする工夫は学んだが、イベントへの参加者を増やす、SNS で不特定多数の人々に届けるといった広報については、成果が挙げられなかったため今年度はそれらの問題に取り組んだ。その結果、オンラインイベントの申し込み者数が昨年度と比較し全てのイベントで上回る結果となった。また、他団体のイベントでのゲスト講演など昨年よりも活動の機会を広げることができた。
2. プロジェクト管理では、今年度新たに開始した事業「子どもの居場所 Nafasi (ナファシ)」でプロジェクト担当として1年間活動をした。現場調整から会計、助成金事務局との連絡調整などを自ら担当した。昨年度は、予算消化の把握が遅くなってしまい、プロジェクト期間終了間近になって助成金事務局に相談していたが、今年度は早くから細かく把握し、事前に相談することができた。
3. 人員マネジメントについては、広報とプロジェクト管理の活動の中で経験を積むことが出来た。今年度は、インターンへの役割分担の結果、前年度より SNS の投稿が増えたことで、オンラインイベントの参加者増加に繋げることも出来た。

**2) 今後の課題**

今後も引き続き、広報と人員マネジメントの力を伸ばしていきたい。広報ではイベントの参加者増加につながった一方、寄付の増加には繋げることが出来なかったため、寄付の増加につながるような広報を今後は目指していく。

人員マネジメントについて、「子どもの居場所 Nafasi (ナファシ)」の中で、地域ボランティアが問題に気付いた際に適切に情報共有がされないことがあった。プロジェクト担当として、プロジェクトを適切に進めるためにも関係者が意見を共有し易い環境づくりに努めたい。

**3) 今後の進路について**

インターン生として2年間活動させていただいたおかげで、2年目である今年は、1年目で発見した課題に向き合うことが出来た。引き続き現場での対応力を磨くとともに、広報や資金調達などのプロジェクトを支える力を養うことで、国際協力の多様なアクタ

ーで通用する力を身につけていきたい。

#### 4) 団体コメント欄

組織運営の知識を身につけ、安定した団体運営を基盤に、持続可能で途上国の内発性を促すプロジェクトを実施できる実務家としてのスキルを向上させるには、長期的な時間がかかり、数年以上の現場経験が必要と思われるが、本プログラムを通じて得た強みや課題について、自身できっちり整理・把握できていると思われるので、今後も現場でも実務経験を積みながら、引き続き課題改善にも取り組み、組織やプロジェクトを支えられる人材になっていただきたい。